

能登震災の医療支援に行ってきました



日本医師会からの要請を受けて、2月1日に出発して、2月8日に帰札する日程で、KKR札幌医療センターからJMAT（日本医師会災害医療チーム）として、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務（ロジスティクス）1名の5人チームで能登震災の医療支援に行ってきました。



どこの地区のどういう状況のところの支援に当たるのか、穴水のJMAT本部に行くまでわからなかったため、薬剤をたくさん積んで、フェリーに乗り込みました。想定外の輪島地区JMAT本部調整役という統括部門の役割を依頼され、持って行った薬剤を使用する機会はありませんでした。いずれにしても、その場その場で必要とされる役割を果たしていくのが大事だと考え、与えられた仕事を全力で行ってきました。



輪島では地元のクリニックも被災されているところが多く、支援された医療コンテナや手洗いスタンドなどを屋外に設置して、診療再開されたところもありました。最終的には地元のクリニックや病院が本来の機能を取り戻すのが理想であり、主にそういったお手伝いをさせていただきました。

震災後時間の経過とともに報道される機会も少しずつ減っていますが、発災から1ヶ月経過した時点でもまだ寸断されている道路もまだたくさんあり、つらい状況におかれている被災者さんたちがいっぱいいて、継続的な支援が長期間にわたって必要であると感じました。



北海道からでも義援金など、できる支援をぜひお願いしたいと思います。

代謝・内分泌・糖尿病内科 渡部 拓

寄り添うところ、安心をあなたに

 KKR 札幌医療センター
KKR SAPPORO MEDICAL CENTER